



謹賀新年

昨年中はお世話になりました。「ほりえ眞報」もお陰様で24号になりました。今年も一号でも多く皆様のお手元に届け、「ご意見を市政に届けていきたい」と思います。ブログ「眞さんのつぶやき」共々本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

雲南病院18年度決算 4億4千万円の大幅赤字

公立雲南総合病院で18年度4億4千6百万円の大きな赤字決算となったことが明らかになりました。医療制度改革の影響で内科医師の大幅減少や精神科病棟の縮小・閉鎖などが大きく影響したことが減収の主要因です。これまで蓄積してきた内部留保資金も残額が底をついてきました。今年度も大幅な改善は見込めず1・5億円を超える赤字の見通しです。今年度改善策の柱として、高い診療報酬が得られる「七対一」看護の導入を目指しました。しかしその後諸般の事情で配置基準を満たすことができず途中で撤退を余儀なくされ今日に至っています。

今後、地域医療の核として病院を守っていくため病院の構成市町である雲南市・奥出雲町・飯南町からの支援が求められてい

ます。いずれこの公立病院経営も厳しく各自治体から支援を受けている中、雲南病院ではこれまで交付税分以外は投入されていません。今後、各市町の支援方法や分担割合など病院議会です分に検討され各市町議会に図られます。

「怠け者を許すのか」幼稚園保育料滞納で激論

幼稚園設置条例の改正案が示され、「保育料を滞納した時は出席を停止することができ」という条文が加えられました。この条文に対して「子供に罪はない」「子供を盾にするのか」という意見と「義務を果たさない悪質な保護者を許すのか」という意見で激論の結果、あくまでも保護者に厳しく「で条文を削除する修正可決をしました。決して怠け者を許すものではありません」

薬師寺や錦帯橋の改修に使用された「和釘」

吉田町・未来科学館の前に大きな鉄塊（インゴット）が並びます。この鉄塊こそ高純度現代鋼材と呼ばれる日本鋼管製「さびない鉄」正式には「平成8年・奈良薬師寺の大講堂再建工事起工。その当時最も和釘に使用された約6トンが特別に精製された約50トンが薬師寺に使用されました。残り約40トンについて当時理事の歴史村松貞次郎「ミュージアムに寄贈・展示されることになりました」。



師寺大講堂再建用 白鳳型和釘

平成13年には岩国錦帯橋の架け替え工事に所望され、3個あつた鉄塊の内、ひとつが名鍛冶白鷹幸伯氏の手に受け替へて和釘に加工された。この鉄材は横濱倉庫街の鉄扉にも使用されている。その年、製作した白鷹鍛冶は「千と語りついでいます。そう思っています。感動です」。

廊下と再建された講堂の鉄釘。大講堂の手によって、薬師寺の再建に使用されました。吉田町「歴史博物館」に展示。

議員の定数等検討委員会 大東町自治振興協議会などから定数削減を求める陳情書

十二月中の結論を目指して協議を重ねてきましたが十一月七日に陳情書が7千余名の署名を添えて提出されました。来年の選挙から議員上限数26名を20名にすべきというものです。

陳情書は12月議会で総務委員会に付託され継続審議されることになりました。今後陳情者の意見を聴取る等年明けから引き続き総務委員会で審議されます。

「検討委員会」では審議経過を見ながら遅くとも今年度中に結論を出す予定です。

検討委員会では議員報酬についても検討中です。現在議員報酬は月額30万6千円です。その他政務調査費として月額1万5千円、年額18万円が支給されています。因みに県内類似団体ではそれぞれ減額後・浜田市33万円、大田市31万円安来市33・2万円等です。定数削減後の報酬について県内・全国の例を参考に厳しい財政事情を十二分に考慮して審議・決定されます。